Galaxy VS

モジュール式バッテリーキャビネット

設置

最大6バッテリーストリング GVSMODBC6

2020年3月





法律情報

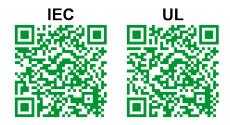
本ガイドで言及されているシュナイダーエレクトリックのブランドならびにシュナイダーエレクトリックSEおよびその子会社の商標は、シュナイダーエレクトリックSEまたはその子会社の所有物です。その他すべてのブランドは、各所有者の商標である場合があります。本ガイドおよびその記載内容は、該当する著作権法で保護されており、情報提供のみを目的とし作成されています。本ガイドのいかなる部分も、いかなる形式や手段(電子的、機械的、複写、記録、またはその他)によっても、どのような目的であっても、シュナイダーエレクトリックから書面による事前の許可を得ずに、再製または頒布することはできません。

シュナイダーエレクトリックは、「現状のまま」本ガイドを調べる非独占な個人ライセンスを除き、本ガイドまたはその記載内容を商業的に使用する権利またはライセンスを付与することはありません。

シュナイダーエレクトリックの製品および設備の設置、運転、メンテナンス、管理は必ず、適格な担当者が行ってください。

規格、仕様、および設計は随時変更されるため、本ガイドに記載されている情報は予告なく変更されることがあります。

適用法により認められる範囲で、シュナイダーエレクトリックおよびその子会社は、本資料の情報コンテンツの誤りや記入漏れまたは本資料に含まれる情報の使用に起因する結果、もしくはその結果から生じる結果に関し、一切責任を負いません。



次にアクセスしてください

IEC: https://www.productinfo.schneider-electric.com/portals/ui/galaxyvs_iec/またはUL: https://www.productinfo.schneider-electric.com/portals/ui/galaxyvs_ul/または、上のQRコードをスキャンしてください。デジタルエクスペリエンスおよび翻訳済みのマニュアルをご覧いただけます。

目次

安全上重要な圧怠事頃一このマニュアルは必ず保管してくださ	
\\	5
FCCステートメント	6
電磁適合性	6
安全性に関する注意	
インストール後の安全性に関する追加の注意	
電気的安全性	
バッテリーの安全性	
モジュール式バッテリーキャビネット仕様	
トルク仕様	
モジュール式バッテリーキャビネットの重量と寸法	
離隔距離 環境	
設置キットの概要	
隣接して設置する場合の設置手順	
リモートに設置する場合の設置手順	18
設置の準備	19
モジュール式バッテリーキャビネットに配線ボックスを取り付けま	
す。	20
モジュール式バッテリーキャビネット1の信号線の準備	21
耐震アンカーの取り付け(オプション)	22
モジュール式バッテリーキャビネット1と内蔵バッテリー付き隣接UPS	
との相互接続	23
モジュール式バッテリーキャビネット1と外部バッテリーの隣接UPSと	
の相互接続	24
モジュール式バッテリーキャビネット間の相互接続	27
最大定格50 kWのUPS用電源ケーブルの接続	28
定格50 kWを超えるUPS用電源ケーブルの接続	31
信号ケーブルの接続	34
翻訳済み安全ラベルの製品への追加	39
最終設置	40

安全上重要な注意事項—このマニュアルは必ず保管して ください

ここに記載されている指示を注意深く読み、装置の設置、操作、整備、保守を行う前に装置についてよく理解してください。以下の安全に関するメッセージは、危険の可能性を警告するため、または手順を明確または簡潔にする情報への注意を喚起するために、このマニュアルまたは装置を通じて随所に記載されています。



「危険」または「警告」の安全に関するメッセージに対する記号の説明は、 指示に 従わないと人体への危害を引き起こす電気的な危険性があることを示しています。



これは安全警報の記号です。人体への危害の危険性があることを警報するために使用されます。人体への危害や死亡の可能性を避けるため、この記号が付いた安全に関するメッセージすべてに従ってください。

▲危険

「危険」は、指示に従わないと、死亡または重傷を負うことになる危険な状況を示します。

これらの指示に従わない場合は、死亡または重傷を負うことになります。

▲警告

「警告」は、指示に従わないと、死亡または重傷を負う可能性がある危険な状況を示します。

これらの指示に従わない場合は、死亡または重傷を負う、または機器を破損する可能性があります。

▲注意

「注意」は、指示に従わないと、軽傷を負う可能性がある危険な状況を示します。

これらの指示に従わない場合は、負傷する、または機器を破損する可能性があります。

注記

「注記」は、人体への危害に関連しない実務に対応するために使用されます。安全警報の記号は、このタイプの安全に関するメッセージには使用しないものとします。

これらの指示に従わない場合は、機器を破損する可能性があります。

ご注意ください

電気機器は有資格者のみが設置、操作、修理、保守するものとします。この資料を使用することに起因するいかなる結果についても、Schneider Electricは責任を負わないものとします。

有資格者とは、電気機器の構造、設置、操作に関するスキルと知識を持ち、危険を認識して回避するための訓練を受けた者です。

FCCステートメント

注: 本製品はFCC規則パート15のクラスAデジタル機器基準に準拠しています。この限度は、当該装置を業務用環境下で作動させる際に、有害な干渉を妥当な範囲で防止するために設定されています。本製品は無線周波数エネルギーを発生、使用し、また放射する可能性があります。マニュアルの指示に従って適切に取り付け、使用しない場合、無線通信に有害な干渉を及ぼす可能性があります。本製品を居住地域で使用すると有害な干渉を起こす可能性があり、この場合、ユーザーは干渉に対する措置を自費で講ずるよう要求されます。

責任のある機関によって明示的な承認を受けずに改変すると、本製品を使用する権利が取り消される可能性があります。

電磁滴合性

注記

電磁波障害のおそれ

本製品は、カテゴリC2に属するUPS製品です。居住環境では本製品により無線干渉が発生する可能性があり、そのような場合にはユーザーによる追加措置が必要とされることがあります。

これらの指示に従わない場合は、機器を破損する可能性があります。

安全性に関する注意

▲▲危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

設置マニュアルの指示をすべて読んでから、この製品の設置や作業を開始してください。

これらの指示に従わない場合は、死亡または重傷を負うことになります。

▲▲危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

すべての作業が完了し、設置場所の清掃が終了するまで、この製品を設置しないでください。

これらの指示に従わない場合は、死亡または重傷を負うことになります。

▲▲危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

この製品は、Schneider Electric社の仕様と要件に従って設置する必要があります。 特に、外部および内部の保護 (上流ブレーカー、バッテリーブレーカー、ケーブル配 線など)と環境要件は重要です。これらの要件に従わなかった場合、Schneider Electric社は責任を負わないものとします。

これらの指示に従わない場合は、死亡または重傷を負うことになります。

▲▲危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

UPSシステムは地方自治体および国家における規則に従って設置される必要があります。UPSは、以下の規格に従って設置してください。

- IEC 60364 (60364-4-41 感電に対する保護、60364-4-42 熱効果に対する 保護、60364-4-43 - 過電流に対する保護を含む)、または
- NEC NFPA 70、または
- カナダの電気規則 (C22.1、パート1)

使用地域で適用される規格に従ってください。

これらの指示に従わない場合は、死亡または重傷を負うことになります。

▲▲危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

- この製品は、導電性汚染物質や湿気のない、温度管理された屋内環境に設置してください。
- この製品は、システムの重量を支えられる、不燃性の平坦で硬い床面 (例、コンクリート面)に設置する必要があります。

これらの指示に従わない場合は、死亡または重傷を負うことになります。

▲▲危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

この製品は、設計上、次のような影響物が存在する動作環境に設置することはできません。

- 有害な煙
- 爆発の危険があるガス、粉体混合物、腐食性ガス、他の熱源からの伝導熱や輻射熱
- 水分、磨耗性塵埃、蒸気、または過度な湿度
- 菌類、昆虫類、有害生物
- 塩分を含んだ空気または汚染された冷却材
- IEC 60664-1が規定するレベル2を超える汚染物
- 異常振動、衝撃、傾斜
- 直射日光、熱源、強力な電磁場

これらの指示に従わない場合は、死亡または重傷を負うことになります。

▲▲危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

取り付けられている配線ロカバーに、ドリルまたは切削によりケーブルや電線管用の穴を開けないでください。また、このUPS装置の近くで穴開けまたは切断作業を行わないでください。

これらの指示に従わない場合は、死亡または重傷を負うことになります。

▲▲警告

アークフラッシュの危険

設置マニュアルで指示されていない限り、この製品に機械的変更 (キャビネット部品の取り外し、ドリルや切削による穴開けなど)を加えないでください。

これらの指示に従わない場合は、死亡または重傷を負う、または機器を破損する可能性があります。

注記

過熱の危険

この製品周囲のスペースの要件を順守し、製品の動作中に製品の換気口をふさがないでください。

これらの指示に従わない場合は、機器を破損する可能性があります。

インストール後の安全性に関する追加の注意

▲▲危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

すべての作業が完了し、設置場所の清掃が終了するまで、UPSシステムを設置しないでください。本製品を設置した後、設置場所で追加の工事が必要な場合は、製品の電源を切り、納品時に同梱されていた保護梱包袋で製品を覆います。

これらの指示に従わない場合は、死亡または重傷を負うことになります。

電気的安全性

▲▲危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

- 電気機器の据え付け、運転、点検、保守は、必ず有資格者が実施する必要があります。
- 適切な個人保護具(PPE)を使用し、安全な電気作業方法に従って作業してください。
- このUPSシステムに対する作業は、内部、外部の別を問わず、このUPS装置のあらゆる電源をオフにしてから実施してください。
- このUPSシステムの作業を始める前に、保護接地も含め、あらゆる端子間で危険な電圧がかかっていないことを確認してください。
- UPSには、蓄電池が内蔵されています。商用電源 / 主電源から切り離されている 状態でも、電圧がかかっている場合があります。このUPSシステムの設置や点検 を行う前に、必ず装置電源をオフにし、商用電源 / 主電源とバッテリーの接続を 解除してください。このUPS装置内部を開く場合は、コンデンサーの放電が終わる まで5分程度待ってから開いてください。
- 各地域の規制に従って上流電源からシステムを絶縁するため、断路装置(断路 ブレーカーやスイッチ)を取り付ける必要があります。この断路装置は、作業しや すく見やすい場所に設置してください。
- UPSは適切に接地処理 / 接地されていなければなりません。また、高い漏れ電流のため、接地処理 / 接地導体を最初に接続する必要があります。

これらの指示に従わない場合は、死亡または重傷を負うことになります。

バッテリーの安全性

▲▲危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

- バッテリーサーキットブレーカーは、Schneider Electric社が定義した仕様と要件に従って設置する必要があります。
- バッテリー点検は、バッテリーや必要な注意事項に関して十分な知識を持つ有資格者以外は行わないでください。 資格を持っていない人をバッテリーに近づけないようにしてください。
- バッテリー端子を接続したり取り外したりする前に、充電源の接続を解除してください。
- 爆発の危険があるため、バッテリーを焼却処分しないでください。
- バッテリーを解体または改造したり、本来とは異なる方法で使用したりしないでください。漏れ出した電解液は肌や目に害を与えるため、注意してください。毒性を持っている場合もあります。

これらの指示に従わない場合は、死亡または重傷を負うことになります。

▲▲危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

バッテリーには、感電やショートの危険性があります。バッテリーを取り扱う際は、以下の注意に従う必要があります。

- 腕時計や指輪など、金属製の物は外してください。
- 絶縁ハンドル付きの工具を使用してください。
- 保護メガネ、手袋、保護靴を装着してください。
- バッテリーの上に工具や金属のパーツを置かないでください。
- バッテリー端子の接続や切断を行う前に、充電源の接続を解除してください。
- バッテリーが誤って接地されていないかどうかを確認してください。誤って接地されている場合は、接地から外してください。接地されたバッテリーに触れると感電する危険性があります。設置や保守の間、接地を外しておけば、感電の危険性を減らすことができます(接地式電源回路を持たない機器やリモートバッテリー電源が該当します)。

これらの指示に従わない場合は、死亡または重傷を負うことになります。

▲▲危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

バッテリー交換時は、必ず同タイプかつ同数のバッテリーまたはバッテリーパックを使用してください。

これらの指示に従わない場合は、死亡または重傷を負うことになります。

注記

機器損傷の危険

- システムが通電可能な状態になってから、バッテリーをシステムに搭載してください。バッテリー搭載から72時間(3日間)以上経過する前に、UPSシステムの電源を入れる必要があります。
- 充電要件により、バッテリーの保管期間は6カ月以内とする必要があります。この UPSシステムを長期間通電せず保管する場合、1カ月に1度以上は24時間通電 するようお勧めします。この措置でバッテリーが充電され、修理不能な損傷を防ぐ ことができます。

これらの指示に従わない場合は、機器を破損する可能性があります。

990-91263A-018

モジュール式バッテリーキャビネット仕様

注記

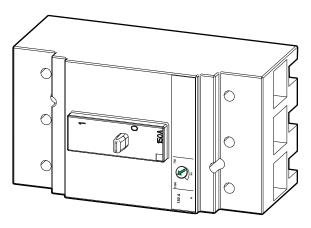
機器損傷の危険

UPSシステムの仕様の詳細については、UPS設置マニュアルを参照してください。 これらの指示に従わない場合は、機器を破損する可能性があります。

1台のUPSに対して、最大4台のモジュール式バッテリーキャビネットを接続することができます。

バッテリーブロック数	40
バッテリーストリング数	最大6本
公称バッテリー電圧 (VDC)	480
公称浮動電圧 (VDC)	545
最大ブースト電圧 (VDC)	571
温度補正	有効
全負荷時の放電終止電圧 (VDC)	384
最大バッテリー電流 (A)	150
最大短絡遮断容量	3.8 kA

バッテリーブレーカーのトリップ設定



ブレーカータイプ	JDF36150
Ir (A)	150 (固定)
Im	5-10 lr

推奨ケーブルサイズ (380/400/415 V用)

▲▲危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

すべての配線は、国が定める基準および / または電気規定に準拠する必要があります。

これらの指示に従わない場合は、死亡または重傷を負うことになります。

注: 過電流保護は、別途ご用意ください。

このマニュアルに記載されているケーブルサイズは、IEC 60364-5-52の表B.52.3および表B.52.5の以下の表記内容に基づいています。

- 導体温度90°C
- 周囲温度30°C
- 銅ケーブル使用
- 設置方法C

PEケーブルのサイズは、IEC 60364-4-54の表54.2に基づいています。

周囲温度が30°Cを超える場合、IECで明記されている補正係数に従ってより大きな導体を選択する必要があります。

DC+/DC-	35 mm ²
DC PE	16 mm ²

推奨ケーブルサイズ (200/208/220/480 V用)

▲▲危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

すべての配線は、国が定める基準および / または電気規定に準拠する必要があります。

これらの指示に従わない場合は、死亡または重傷を負うことになります。

このマニュアルにおけるケーブルサイズは、National Electrical Code (NEC)の表 310.15 (B)(16)中の以下の表記内容に基づいています。

- 90°C(194°F)の導体(75°C(167°F)の終端)
- 周囲温度30°C(86°F)
- 銅ケーブル使用

機器の接地導体 (このマニュアルではPE) のサイズは、NEC 250.122条および表250.122に従っています。

周囲温度が30 °C (86 °F) を超える場合、NECで明記されている補正係数に従ってより大きな導体を選択する必要があります。

DC+ / DC-	1 AWG
DC PE	6 AWG

990-91263A-018

トルク仕様

ボルトサイズ	トルク
M4	1.7 Nm (1.25 lb-ft / 15 lb-in)
M5	2.2 Nm (1.62 lb-ft / 19.5 lb-in)
M6	5 Nm (3.69 lb-ft / 44.3 lb-in)
M8	17.5 Nm (12.91 lb-ft / 154.9 lb-in)
M10	30 Nm (22 lb-ft / 194.7 lb-in)

モジュール式バッテリーキャビネットの重量と寸法

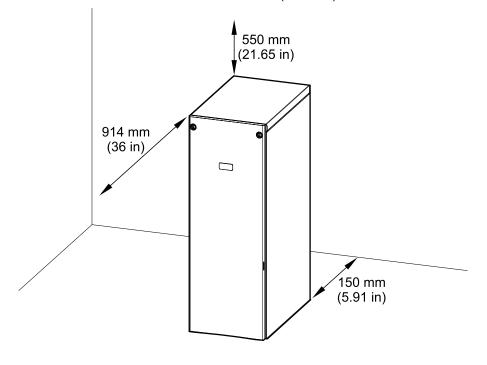
商用参照名	重量kg(lbs)	高さmm(in)	幅mm (in)	奥行き mm(in)
GVSMODBC6 - 何も搭載されていない場合 - 6個のバッテリーストリング 搭載時	145 (319.67) 913 (2012.82)	1485 (58.46)	521 (20.51)	847 (33.35)

注: バッテリーモジュール1台の重量は約32 kg (70.5ポンド)です。

離隔距離

注:離隔距離の必要寸法は、通気性と保守作業の目的でのみ表示しています。使用地域での追加要求事項については、使用地域の安全規格および基準を参照してください。

注: 必要な最小背面クリアランスは150 mm (5.91 in)です。



環境

	動作時	保管時
温度	0 °C ~ 40 °C (32 °F ~ 104 °F)	-15 °C ~ 40 °C (5 °F ~ 104 °F)
相対湿度	0~95%、結露なきこと	10~80%、結露なきこと
標高	0~3000 m (0~10000フィート)	
保護クラス	IP20	
塗装色	RAL 9003、光沢度85%	

設置キットの概要

設置キットOH-9330

部品	用途	ユニット数
連結カバー	モジュール式バッテリーキャビネット1と内蔵バッテリー付き隣接UPSとの相互接続、ページ 23、またはモジュール式バッテリーキャビネット1と外部バッテリーの隣接UPSとの相互接続、ページ 24、およびモジュール式バッテリーキャビネット間の相互接続、ページ 27	1
PEケーブル0W49449	最大定格50 kWのUPS用電源ケーブルの接続, ページ 28または定格50 kWを超えるUPS用電源ケーブルの接続, ページ 31	1
DCケーブル0W49426	最大定格50 kWのUPS用電源ケーブルの接続, ページ 28	2

設置キットOH-9332

部品	用途	ユニット数
ワッシャ付きM6 x 16 mmネジ	モジュール式バッテリーキャビネット1と内蔵バッテリー付き隣接UPSとの相互接続、ページ 23およびモジュール式バッテリーキャビネット間の相互接続、ページ 27	9
相互接続ブラケット		3 0
ワッシャ付き M6 ナット	最大定格50 kWのUPS用電源ケーブルの接続, ページ 28または定格50 kWを超えるUPS用電源ケーブルの接続, ページ 31	5
ワッシャ付きM6 x 20 mmボルト		6
ケーブルタイ	最大定格50 kWのUPS用電源ケーブルの接続, ページ 28または定格50 kWを超えるUPS用電源ケーブルの接続, ページ 31	18
信号ケーブル 0W12680	信号ケーブルの接続 , ページ 34 。	1
信号ケーブル 0W76629		1

オプションの耐震キットGVSOPT002

部品	用途	ユニット数
ワッシャ付きM8 x 20 mmボルト	耐震アンカーの取り付け(オプション), ページ 22および最終設置, ページ 40	12
背面固定用金具		1
背面固定用金具		1
前面固定用金具		1
背面接続プレート		1

オプションキットGVSOPT030

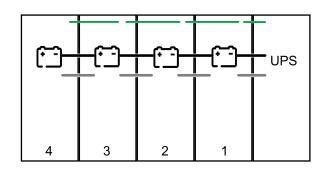
外部バッテリーの隣接UPSを使用した設置の場合にのみ利用可能です。

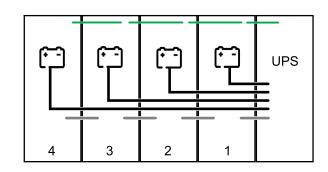
部品	用途	ユニット数
相互接続クランプ	モジュール式バッテリーキャビネット1と外部バッテリーの隣接 UPSとの相互接続, ページ 24。	3
ワッシャ付きM6 x 16 mmネジ		3
ワッシャ付きM6ナット		3
ケーブルタイ		30
ワッシャ付きM8 x 25 mmボルト	モジュール式バッテリーキャビネット1と外部バッテリーの隣接 UPSとの相互接続、ページ 24、および最大定格50 kWの UPS用電源ケーブルの接続、ページ 28、または定格50 kW を超えるUPS用電源ケーブルの接続、ページ 31。	9
ワッシャ付きM8ナット		9
PEケーブル0W13065 (モジュール式バッテリーキャビネット 1用)		1
DCケーブル0W13071 (モジュール式バッテリーキャビネット 1用)		1
ケーブルタイ		18
DCケーブル0W13066 (モジュール式バッテリーキャビネット 2用)	モジュール式バッテリーキャビネット1と外部バッテリーの隣接 UPSとの相互接続、ページ 24および定格50 kWを超える UPS用電源ケーブルの接続、ページ 31	1
DCケーブル0W13068 (モジュール式バッテリーキャビネット 3用)		1
DCケーブル0W13067 (モジュール式バッテリーキャビネット 4用)		1
信号ケーブル 0W13070	モジュール式バッテリーキャビネット1と外部バッテリーの隣接 UPSとの相互接続、ページ 24および信号ケーブルの接続、 ページ 34	1
信号ケーブル 0W13069		1

隣接して設置する場合の設置手順

最大定格50 kWのモジュール式バッテリーキャビネットおよび隣接UPS

定格50 kWを超えるモジュール式バッテリーキャビネット および隣接UPS





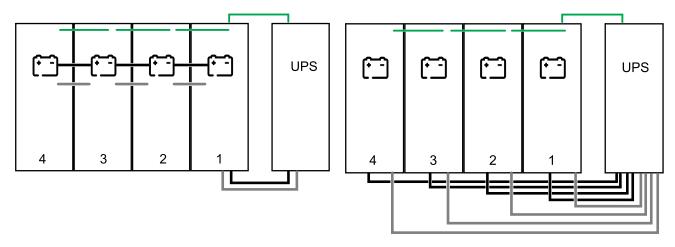
───── 信号線───── 電源ケーブル───── PEケーブル

- 1. UPSの設置の準備については、UPSマニュアルを参照してください。
- 2. 設置の準備, ページ 19。
- 3. オプション:耐震アンカーの取り付け(オプション),ページ22。
- 4. 次のいずれかを実行します。
 - モジュール式バッテリーキャビネット1と内蔵バッテリー付き隣接UPSとの相互接続、ページ 23、または
 - モジュール式バッテリーキャビネット1と外部バッテリーの隣接UPSとの相互接続、ページ 24。
- 5. モジュール式バッテリーキャビネット間の相互接続,ページ 27。
- 6. 次のいずれかを実行します。
 - 最大定格50 kWのUPS用電源ケーブルの接続, ページ 28、または
 - 定格50 kWを超えるUPS用電源ケーブルの接続, ページ 31。
- 7. 信号ケーブルの接続, ページ 34。
- 8. 翻訳済み安全ラベルの製品への追加,ページ39。
- 9. 最終設置, ページ 40。

リモートに設置する場合の設置手順

最大定格50 kWのモジュール式バッテリーキャビネットおよびリモートUPS

定格50 kWを超えるモジュール式バッテリーキャビネット およびリモートUPS



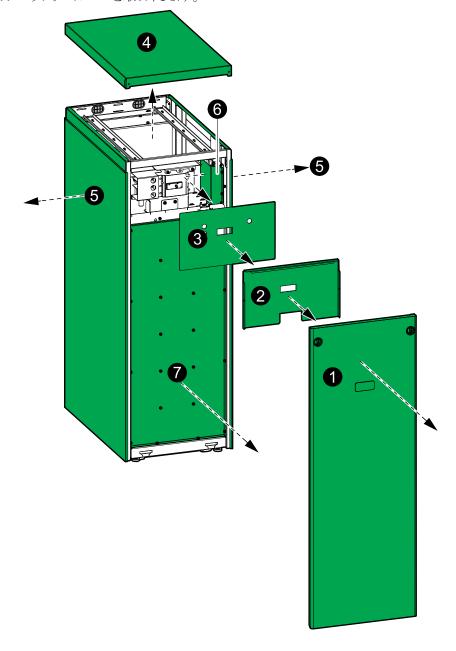
── 信号線━─ 電源ケーブル── PEケーブル

注: モジュール式バッテリーキャビネットとUPS間の距離は100 m以内でなければなりません。これ以上離れた距離に設置する場合は、Schneider Electricまでお問い合わせください。

- 1. UPSの設置の準備については、UPSマニュアルを参照してください。
- 2. 設置の準備, ページ 19。
- 3. モジュール式バッテリーキャビネットに配線ボックスを取り付けます。, ページ 20。
- 4. モジュール式バッテリーキャビネット1の信号線の準備,ページ21。
- 5. オプション:耐震アンカーの取り付け(オプション),ページ22。
- 6. モジュール式バッテリーキャビネット間の相互接続、ページ 27。
- 7. 次のいずれかを実行します。
 - 最大定格50 kWのUPS用電源ケーブルの接続, ページ 28、または
 - 定格50 kWを超えるUPS用電源ケーブルの接続, ページ 31。
- 8. 信号ケーブルの接続, ページ 34。
- 9. 翻訳済み安全ラベルの製品への追加,ページ39。
- 10. 最終設置、ページ 40。

設置の準備

- 1. 前面パネルを取り外します。
- 2. 上部プレートを取り外します。
- 3. 透明プレートを取り外します。
- 4. 上部カバーを取り外します。
- 5. 別のモジュール式バッテリーキャビネットまたは隣接UPSに隣接するサイドパネルを取り外します。
- 6. ボード640-7552からカバーを取り外します。
- 7. バッテリーカバーを取り外します。



990-91263A-018

す。

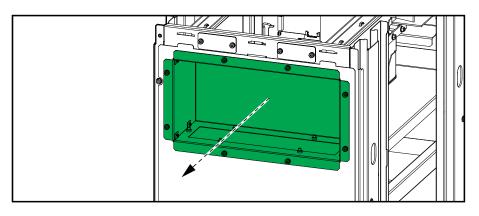
モジュール式バッテリーキャビネットに配線ボックスを取り付けます。

最大定格50 kWのリモートUPSを設置する場合:モジュール式バッテリーキャビネット1で以下の手順を実行します。

定格50 kWを超えるリモートUPSを設置する場合: すべてのモジュール式バッテリーキャビネットで以下の手順を実行します。

1. モジュール式バッテリーキャビネットから配線ボックスを取り外します。

モジュール式バッテリーキャビネットの背面図



- 2. 配線ボックスから上部または下部の配線口カバーを取り外します。
- 3. 上部または下部の配線ロカバーに電源ケーブル / 電線管用の穴を開けます。必要に応じて、電線管 (付属していません)を取り付けます。

▲▲危険

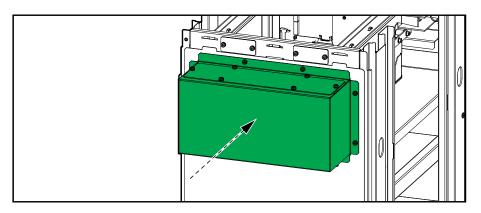
感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

取り付けられている配線ロカバーに穴をドリルやパンチで開けないでください。 また、キャビネットの近くでドリルやパンチを使用しないでください。

これらの指示に従わない場合は、死亡または重傷を負うことになります。

- 4. 配線ボックスに上部または下部の配線口カバーを再度取り付けます。
- 5. モジュール式バッテリーキャビネットに配線ボックスを取り付けます。配線ボックスが 逆の位置に取り付けられていることに注意してください。

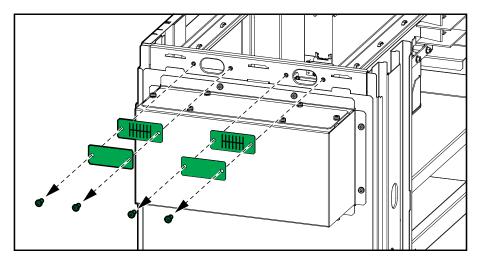
モジュール式バッテリーキャビネットの背面図



モジュール式バッテリーキャビネット1の信号線の準備

1. モジュール式バッテリーキャビネット1の背面から配線ロカバーとブラシプレートを 取り外します。

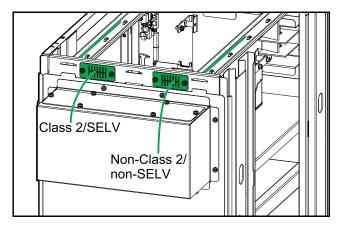
モジュール式バッテリーキャビネット1の背面図

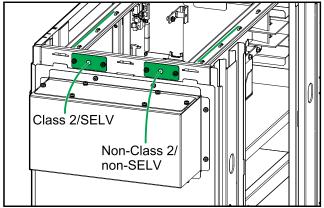


- 2. 次のいずれかを実行します。
 - 電線管を使用せずに設置する場合:ブラシプレートを再度取り付けます。
 - 電線管を使用して設置する場合:配線ロカバーに電線管用の穴を開け、配線ロカバーを再度取り付けます。

電線管を使用しないモジュール式バッテリーキャビネット の背面図

電線管を使用したモジュール式バッテリーキャビネット1の背面図

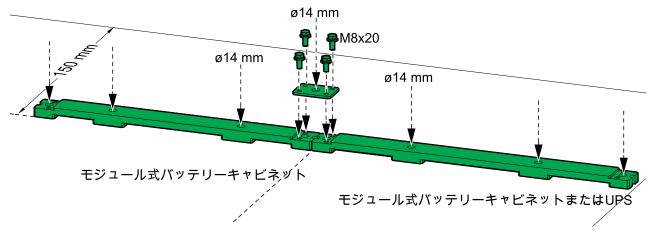




- 3. Class 2/SELV信号線を左側の配線口カバーを通して、モジュール式バッテリーキャビネット1に配線します。
- 4. non-Class 2/non-SELV信号線を右側の配線口カバーを通して、モジュール式 バッテリーキャビネット1に配線します。

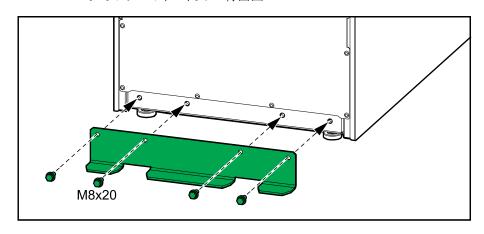
耐震アンカーの取り付け(オプション)

1. 床に背面固定用金具を取り付けます。床のタイプに合った適切な金具を使用してください。背面固定用金具のブラケットの穴の直径はØ14 mmです。背面相互接続プレートは複数のモジュール式バッテリーキャビネットおよび / または隣接UPSと一緒に使用します。



2. 付属のM8ボルトを使用して、モジュール式バッテリーキャビネットに背面固定用金 具のブラケットを取り付けます。

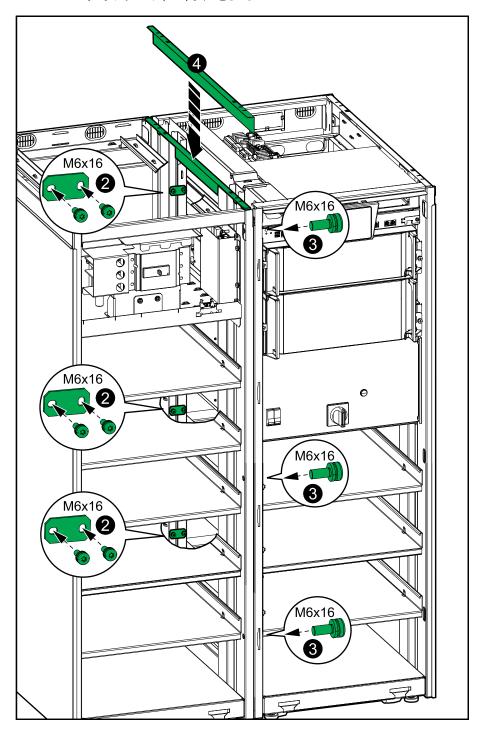
モジュール式バッテリーキャビネットの背面図



モジュール式バッテリーキャビネット1と内蔵バッテリー付き隣接UPSとの相互接続

- 1. モジュール式バッテリーキャビネット1とUPSを所定の位置に押し込みます。
- 2. モジュール式バッテリーキャビネット1とUPSの間に3つの相互接続ブラケットを取り付けます。
- 3. モジュール式バッテリーキャビネット1とUPSの間に3つの相互接続ネジを取り付けます。
- 4. モジュール式バッテリーキャビネット1とUPSの間に連結カバーを押し下げます。

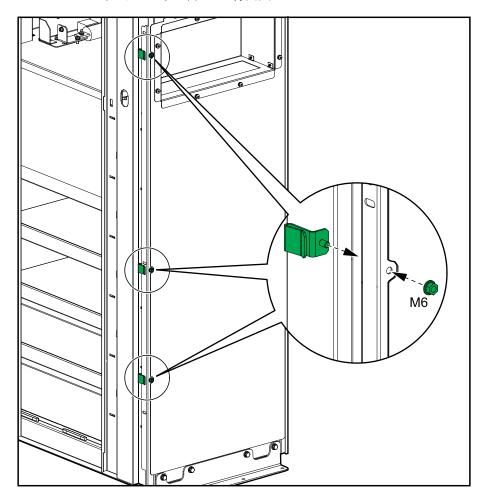
モジュール式バッテリーキャビネット1とUPS



モジュール式バッテリーキャビネット1と外部バッテリーの隣接UPSとの相互接続

- 1. UPSを所定の位置に押し込みます。
- 2. モジュール式バッテリーキャビネット1に3つの相互接続クランプを取り付けます。

モジュール式バッテリーキャビネット1の背面図

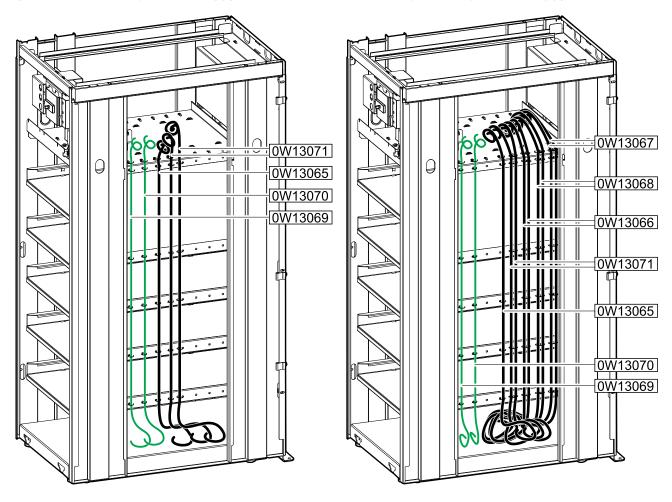


3. オプションキットGVSOPT030の信号ケーブル (0W13069および0W13070)を、モジュール式バッテリーキャビネット1の右側に付属のケーブルタイを使用して固定します。ケーブルの端をモジュール式バッテリーキャビネット1の上部と下部のラックに一時的に置くと、UPSとの相互接続中にケーブルが損傷することはありません。ケーブル接続については、信号ケーブルの接続、ページ 34を参照してください。

4. オプションキットGVSOPT030のDCケーブルとPEケーブルを、モジュール式バッテリーキャビネット1の右側に付属のケーブルタイを使用して固定します。ケーブルの端をモジュール式バッテリーキャビネット1の上部と下部のラックに一時的に置くと、UPSとの相互接続中にケーブルが損傷することはありません。ケーブル接続については、最大定格50 kWのUPS用電源ケーブルの接続、ページ 28、または定格50 kWを超えるUPS用電源ケーブルの接続、ページ 31を参照してください。

最大定格50 kWの外部バッテリーの隣接UPS

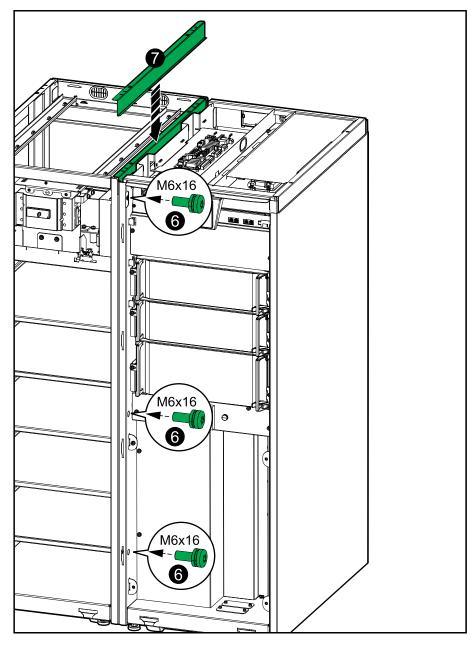
定格50 kW以上の外部バッテリーの隣接UPS



5. モジュール式バッテリーキャビネット1をUPSに合わせて揃えます。前面の相互接続ネジの穴がUPSのネジ穴と揃うまで、モジュール式バッテリーキャビネット1を押し込みます。正しい位置に固定されると、相互接続クランプはUPSに接続します。

6. モジュール式バッテリーキャビネット1とUPSの間に3つの相互接続ネジを取り付けます。

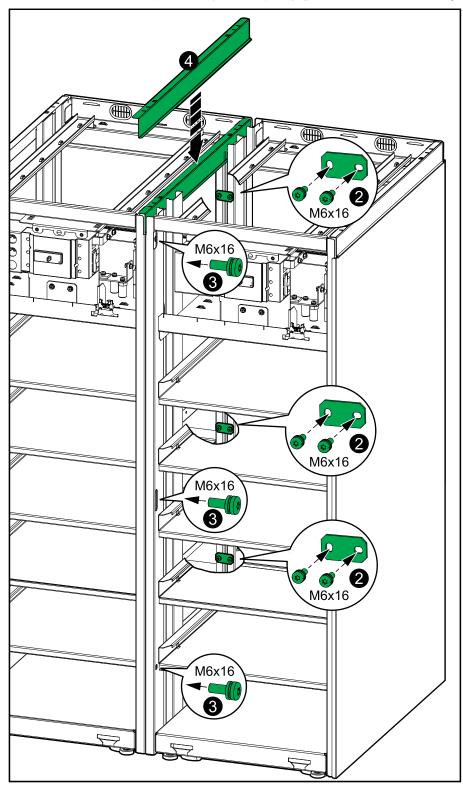
モジュール式バッテリーキャビネット1と外部バッテリーのUPS



7. モジュール式バッテリーキャビネット1とUPSの間に連結カバーを押し下げます。

モジュール式バッテリーキャビネット間の相互接続

- 1. モジュール式バッテリーキャビネットを所定の位置に押し込みます。耐震固定の場合、背面固定用金具のブラケットが背面固定用金具に接続されていることを確認してください。
- 2. モジュール式バッテリーキャビネット間に3つの相互接続ブラケットを取り付けます。



- 3. モジュール式バッテリーキャビネット間に3つの相互接続ネジを取り付けます。
- 4. モジュール式バッテリーキャビネットの間に連結カバーを押し下げます。

最大定格50 kWのUPS用電源ケーブルの接続

注記

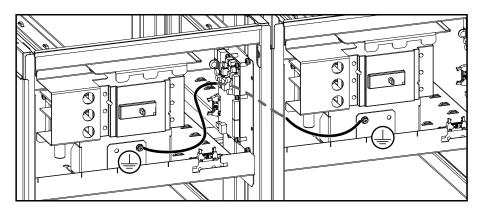
機器損傷の危険

UPSの最大定格が50 kWの場合、設置の際は、バッテリーブレーカーからバッテリーブレーカーへのDCケーブルの接続のみです。定格50 kWを超えるUPSを設置する場合、各モジュール式バッテリーキャビネットのDCケーブルは、UPSに直接接続する必要があります。定格50 kWを超えるUPS用電源ケーブルの接続、ページ 31を参照してください。

これらの指示に従わない場合は、機器を破損する可能性があります。

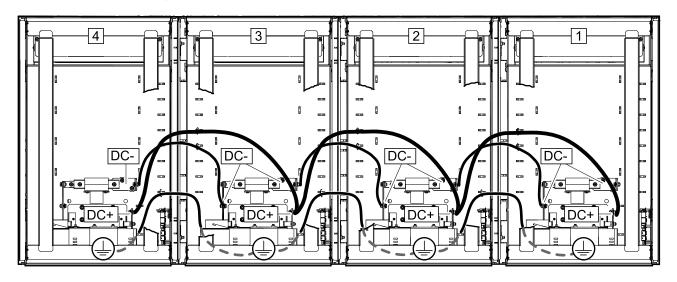
1. 以下の図のように、付属のPEケーブル (0W49449) をモジュール式バッテリーキャビネット間に接続します。

2台のモジュール式バッテリーキャビネットの前面図



2. 以下の図のように、付属のDCケーブル (0W49426) をモジュール式バッテリー キャビネット間に接続します。

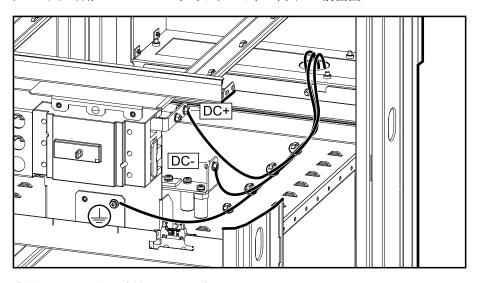
モジュール式バッテリーキャビネットの上面図



3. リモート**UPS**の場合:

- a. モジュール式バッテリーキャビネット1でPEケーブルとDCケーブル (付属していません)を接続します。
- b. 配線ボックスを通して、PEケーブルとDCケーブルをUPSの電源ケーブル領域に配線します。
- c. UPSでPEケーブルとDCケーブルを接続するには、UPS設置マニュアルを参照してください。

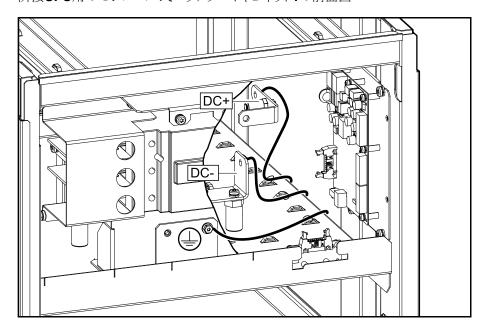
リモートUPS用のモジュール式バッテリーキャビネット1の前面図



4. 内蔵バッテリー付き隣接UPSの場合:

- a. 付属のPEケーブル (0W49449) とDCケーブル (0W49426) をUPSで接続します。UPS設置マニュアルに従って、PEケーブルとDCケーブルをUPSで接続して配線します。
- b. モジュール式バッテリーキャビネット1でPEケーブルとDCケーブルを接続します。

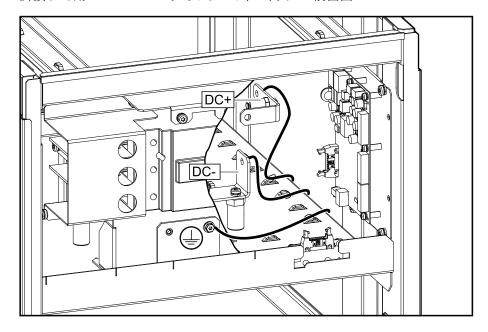
隣接UPS用のモジュール式バッテリーキャビネット1の前面図



990-91263A-018

- 5. 外部バッテリーの隣接UPSの場合:
 - a. モジュール式バッテリーキャビネット1にオプションキットGVSOPT030のPE ケーブル (0W13065)とDCケーブル (0W13071)を接続します。
 - b. PEケーブルとDCケーブルを右側から通して、UPSの電源ケーブル領域に配線します。
 - c. UPSでPEケーブルとDCケーブルを接続するには、UPS設置マニュアルを参照してください。

隣接UPS用のモジュール式バッテリーキャビネット1の前面図



定格50 kWを超えるUPS用電源ケーブルの接続

注記

機器損傷の危険

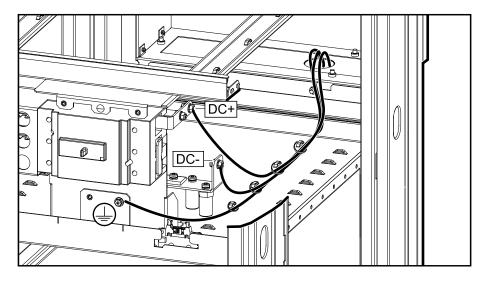
定格50 kWを超えるUPSを設置する場合、各モジュール式バッテリーキャビネットのDCケーブルは、UPSに直接接続する必要があります。

これらの指示に従わない場合は、機器を破損する可能性があります。

リモートUPSの場合:

- a. 各モジュール式バッテリーキャビネットでPEケーブルとDCケーブル (付属していません)を接続します。
- b. 配線ボックスを通して、PEケーブルとDCケーブルをUPSの電源ケーブル領域に配線します。
- c. UPSでPEケーブルとDCケーブルを接続するには、UPS設置マニュアルを参照してください。

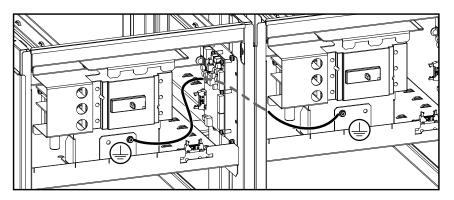
リモートUPS用のモジュール式バッテリーキャビネットの前面図



2. 外部バッテリーの隣接UPSの場合:

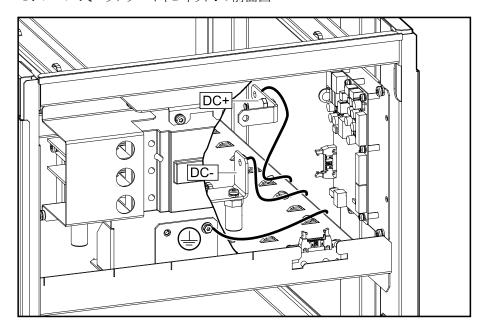
a. 以下の図のように、付属のPEケーブル (0W49449) をモジュール式バッテリーキャビネット間に接続します。

2台のモジュール式バッテリーキャビネットの前面図

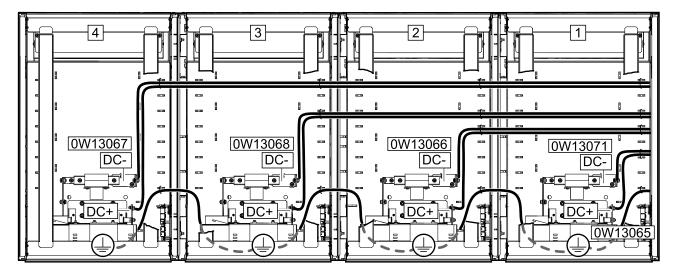


- b. モジュール式バッテリーキャビネット1にオプションキットGVSOPT030のPE ケーブルを接続し、PEケーブルを右側から通してUPSの電源ケーブル領域 に配線します。
- c. 各モジュール式バッテリーキャビネットにオプションキットGVSOPT030のDC ケーブルを接続し、DCケーブルを右側から通してUPSの電源ケーブル領域に配線します。DCケーブルは、モジュール式バッテリーキャビネットを通して配線します。
- d. UPSでPEケーブルとDCケーブルを接続するには、UPS設置マニュアルを参照してください。

モジュール式バッテリーキャビネット1の前面図



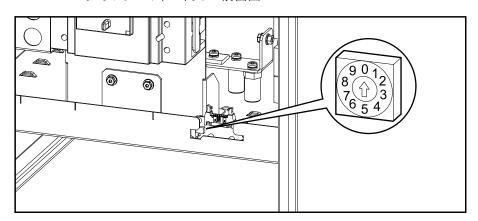
モジュール式バッテリーキャビネットの上面図



信号ケーブルの接続

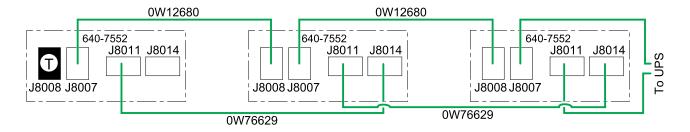
1. バッテリーブレーカーの下のスイッチで、各モジュール式バッテリーキャビネットに IDを割り当てます。 隣接して設置する場合の設置手順, ページ 17の設置概要の画像に応じて、IDを設定します。

モジュール式バッテリーキャビネットの前面図

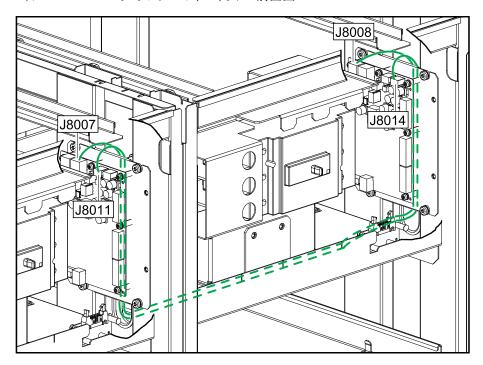


- 2. 付属の信号ケーブルをすべてのモジュール式バッテリーキャビネット間に接続します。
 - a. 付属の信号ケーブル0W12680を、モジュール式バッテリーキャビネット間のボード640-7552のJ8007からJ8008に接続します。
 - b. 付属の信号ケーブル0W76629を、モジュール式バッテリーキャビネット間のボード640-7552のJ8011からJ8014に接続します。
 - c. 最後のモジュール式バッテリーキャビネットの未使用のJ8008コネクターに終端プラグ(T)を取り付けます。

モジュール式バッテリーキャビネット3 モジュール式バッテリーキャビネット2 モジュール式バッテリーキャビネット1



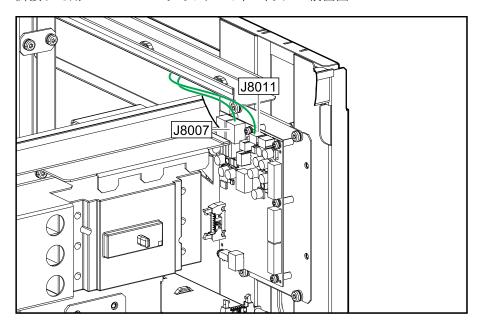
2台のモジュール式バッテリーキャビネットの前面図



- 3. 内蔵バッテリー付き隣接UPSを設置する場合:
 - a. 付属の信号ケーブル0W12680をモジュール式バッテリーキャビネット1のボード640-7552のJ8007に接続して、右側を通して配線し、UPS設置マニュアルに従って、UPSで信号ケーブルを接続します。
 - b. 付属の信号ケーブル0W76629をモジュール式バッテリーキャビネット1のボード640-7552のJ8011に接続して、右側から通して配線し、UPS設置マニュアルに従って、UPSで信号ケーブルを接続します。

- 4. 外部バッテリーの隣接UPSを設置する場合:
 - a. オプションキットGVSOPT030の信号ケーブル0W13069をモジュール式バッテリーキャビネット1のボード640-7552のJ8007に接続して、右側から通して配線し、UPS設置マニュアルに従って、UPSで信号ケーブルを接続します。
 - b. オプションキットGVSOPT030の信号ケーブル0W13070をモジュール式バッテリーキャビネット1のボード640-7552のJ8011に接続して、右側から通して配線し、UPS設置マニュアルに従って、UPSで信号ケーブルを接続します。

隣接UPS用のモジュール式バッテリーキャビネット1の前面図



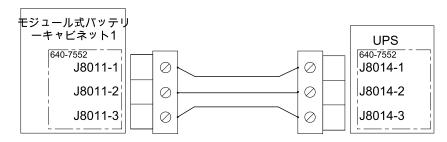
- 5. リモートに設置する場合:
 - a. モジュール式バッテリーキャビネット1のボード640-7552のJ8007に信号ケーブルを背面から通して配線し、接続します。UPS設置マニュアルに従って、UPSに信号ケーブルを接続します。

注: 付属の信号ケーブルOW12680は、リモートUPSを設置するには十分な長さではありません。5メートルの信号ケーブル (OJ-OW4527) または50メートルの信号ケーブル (OJ-OW3758) は、Schneider Electricにご注文いただけます。他の長さの信号ケーブルについては、Schneider Electricにお問い合わせください。この信号ケーブルは、Class 2/SELVとして分類されます。

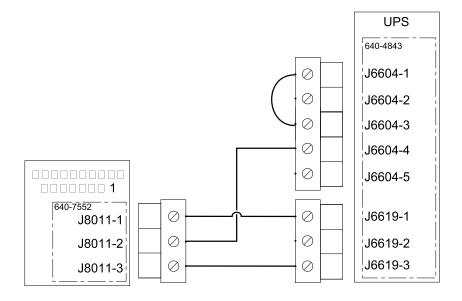
b. モジュール式バッテリーキャビネット1のボード640-7552のJ8011に信号ケーブルを背面から配線し、接続します。UPS設置マニュアルに従って、UPSに信号ケーブルを接続します。

注: 付属の信号ケーブル0W76629は、リモートUPSを設置するには十分な長さではありません。 付属の信号ケーブル0W76629のコネクターを再利用して、新しい信号ケーブルを正しい長さに調整します。 この信号ケーブルは、non-Class 2/non-SELVとして分類されます。

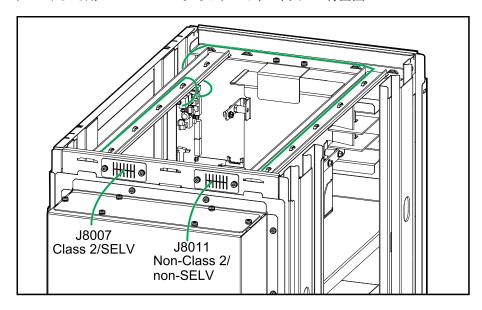
内蔵バッテリー付きUPSの信号ケーブル



外部バッテリーのUPSの信号ケーブル



リモートUPS用のモジュール式バッテリーキャビネット1の背面図



翻訳済み安全ラベルの製品への追加

製品の安全ラベルは、英語とフランス語で記載されています。製品には翻訳済み安全ラベルのシートが同梱されています。

- 1. 製品に同梱されている翻訳済み安全ラベルの付いたシートを取り出します。
- 2. どの885-XXX番号が翻訳済み安全ラベルの付いたシートに記載されているかを確認します。
- 3. シートにある翻訳済み安全ラベルの番号885-XXXと一致する安全ラベルを製品上で探します。
- 4. 目的の言語で記載されている差し替え用の安全ラベルを、フランス語で記載されている既存の安全ラベル上に追加します。

最終設置

▲▲危険

感電、爆発、またはアークフラッシュの危険

バッテリーには、感電やショートの危険性があります。バッテリーを取り扱う際は、以下の注意に従う必要があります。

- 腕時計や指輪など、金属製の物は外してください。
- 絶縁ハンドル付きの工具を使用してください。
- 保護メガネ、手袋、保護靴を装着してください。
- バッテリーの上に工具や金属のパーツを置かないでください。
- バッテリー端子の接続や切断を行う前に、充電源の接続を解除してください。
- バッテリーが誤って接地されていないかどうかを確認してください。誤って接地されている場合は、接地から外してください。接地されたバッテリーに触れると感電する危険性があります。設置や保守の間、接地を外しておけば、感電の危険性を減らすことができます(接地式電源回路を持たない機器やリモートバッテリー電源が該当します)。

これらの指示に従わない場合は、死亡または重傷を負うことになります。

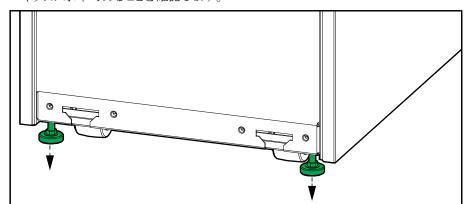
▲警告

機器損傷の危険

システムが通電可能な状態になってから、バッテリーをシステムに搭載してください。 バッテリー搭載から72時間 (3日間)以上経過する前に、UPSシステムの電源を入れる必要があります。

これらの指示に従わない場合は、死亡または重傷を負う、または機器を破損する可能性があります。

1. レンチを使用して、モジュール式バッテリーキャビネットの前面と背面の水平調節の脚部を床面に着くまで下げます。水平器を使用して、モジュール式バッテリーキャビネットが水平であることを確認します。



注記

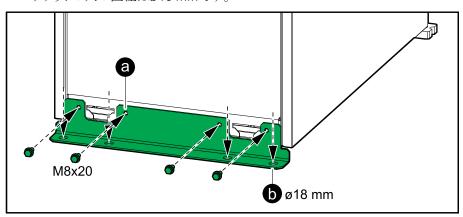
機器損傷の危険

水平調節の脚部を下げた後はキャビネットを動かさないでください。

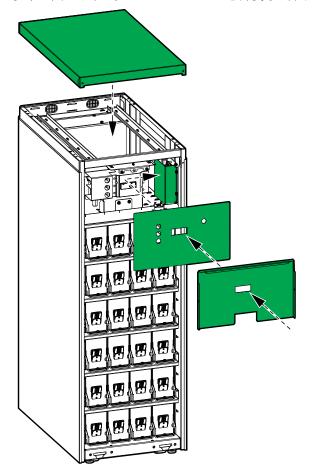
これらの指示に従わない場合は、機器を破損する可能性があります。

2. 耐震固定の場合のみ

- a. 付属のM8ボルトを使用して、モジュール式バッテリーキャビネットに前面の耐震固定用金具のブラケットを取り付けます。
- b. モジュール式バッテリーキャビネットの前面の耐震固定用金具を床に固定します。床のタイプに合った適切な金具を使用してください。前面固定用金具のブラケットの穴の直径はØ18 mmです。

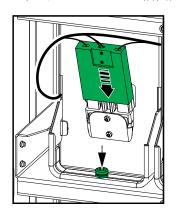


- 3. バッテリーブレーカーBBを開(OFF)位置にします。
- **4.** バッテリーモジュールをスロットに押し込みます。 ラックを下から順に埋めていきます。
- 5. バッテリーモジュールハンドルを下げ、付属のネジを使用してハンドルをラックに固定します。
- 6. 以下の図に示すようにプレートとカバーを再度取り付けます。

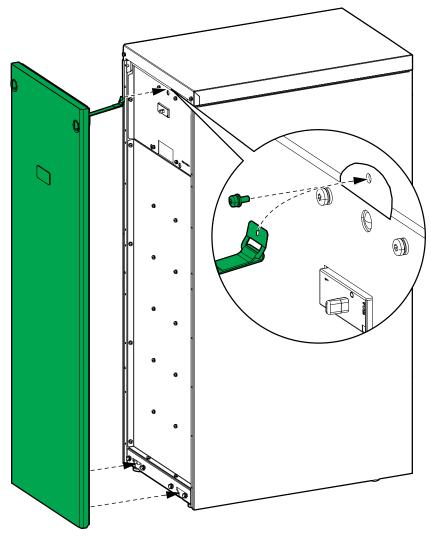


7. バッテリーモジュールの前面にバッテリー端子を接続します。

バッテリーモジュールの前面図



- 8. バッテリーカバーを再度取り付けます。
- 9. 前面パネルを再度取り付けます。
 - a. モジュール式バッテリーキャビネットの前面パネルの下部にある2つのタブを斜めの角度で挿入します。
 - b. 前面パネルストラップをモジュール式バッテリーキャビネットに再度取り付けます。
 - c. 前面パネルを閉じ、2つのロックつまみをロックします。



Schneider Electric 35 rue Joseph Monier 92500 Rueil Malmaison France

+ 33 (0) 1 41 29 70 00



規格、仕様、設計はその時々で変更されるため、この出版物に含まれる情報は必ず確認を取ってください

© 2019 - 2020 Schneider Electric. 著作権保有

990-91263A-018